



PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会

関東1予選（千葉）

結果のお知らせ

<PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会 関東1予選>

◇2016年3月28日（月） 天候：雨のち曇り

◇千葉・ムーンレイク GC 茂原コース（15-17歳男子 6719ヤード、パー72 ほかカテゴリー別）

◇出場 168人

<PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会 関東1予選 概況>

15-17歳の部男子はプロゴルファー金子柱憲の長男、金子憲洋（東京・立教池袋高2年）が1オーバー73で回り、昨年の国体新潟県代表の大澤 優（新潟・開志国際高1年）と並んだが、カウントバックで1位となり、東日本決勝大会（4月23、24日、茨城・美浦GC）に進んだ。同女子の部では、関根理央（東京・杉並学院高1年）が後半34で回って、ただ1人アンダーパーの1アンダー71をマークして1位通過した。13-14歳の部男子は、この大会を主催する国際ジュニアゴルフ育成協会理事長でプロゴルファー井上透の次男、井上和馬（東京・立教池袋中1年）が5オーバー77ながらカウントバックの結果、1位となった。同女子は西郷真央（千葉・麗澤中2年）が1オーバー73の好スコアをマークし、トップで東日本決勝大会に進出した。

東日本決勝大会進出者は以下の通り。

▽15-17歳男子

【1位】金子憲洋（東京・立教池袋高2年）=73 【2位】大澤 優（新潟・開志国際高1年）=73
【3位】細谷朋生（千葉・茂原東中3年）=76 【4位】井上達希（神奈川・聖光学院高1年）=76
【5位】半田紘夢（新潟・開志国際高1年）=77 【6位】深尾健太（東京・杉並学院中3年）=77
【7位】篠原株登（東京・国分寺第二中3年）=77 【8位】佐藤飛鳥（東京・国立第二中3年）=77
【9位】操上真廣（千葉・千葉南高2年）=78 【10位】高原竜弥（東京・日本ウェルネス高1年）=79

▽同女子

【1位】関根理央（東京・杉並学院高1年）=71 【2位】松岡 華（千葉・花園中3年）=73
【3位】久保青空（千葉・麗澤中2年）=74 【4位】西村あすみ（千葉・千葉学芸高2年）=76
【5位】鈴木桂花（千葉・貝塚中3年）=76 【6位】押田千菜実（千葉・千葉学芸高2年）=78
【7位】石澤梨音（東京・共立女子第二高1年）=78 【8位】大村桃葉（静岡・曳馬中3年）=79

▽13-14歳男子

【1位】井上和馬（東京・立教池袋中1年）=77 【2位】菅野義稀（茨城・小見川中1年）=77
【3位】中川拓海（千葉・八街中央中2年）=79 【4位】芳崎陽紀（神奈川・南毛利中1年）=79
【5位】藤澤 諒（山梨・甲府南中1年）=79 【6位】川畑京太郎（千葉・翔凜中1年）=80
【7位】石谷竜月希（千葉・我孫子中1年）=80 【8位】遠藤りお（埼玉・埼玉栄中1年）=81
【9位】原田 凧（埼玉・埼玉栄中2年）=82 【10位】椎名優介（東京・青戸中2年）=82

▽同女子

【1位】西郷真央（千葉・麗澤中2年）=73 【2位】伊波川 彩名（東京・筑波大付中1年）=74
【3位】飯村知紗（茨城・双葉台中2年）=75 【4位】中谷 舞（千葉・多古中1年）=75
【5位】宇佐美 彩華（千葉・東高津中2年）=81 【6位】松本凜子（埼玉・埼玉中1年）=82
【7位】鈴木優芽（埼玉・小針中1年）=83 【8位】翁長咲弥（神奈川・東橘中1年）=83

▽11-12歳男子

- 【1位】楠 大峻（神奈川・元石川小6年）=75 【2位】大野 倅（千葉・吉岡小6年）=79
【3位】森 虎琉（東京・入新井第五小5年）=80 【4位】高梨 倭（千葉・誉田南小5年）=81
【5位】篠原雷登（東京・国分寺第七小5年）=83
【6位】竹原佳吾（神奈川・森村学園初等部6年）=83
【7位】星野豪汰（東京・幡代小6年）=84

▽同女子

- 【1位】佐藤心結（神奈川・桜井小6年）=77 【2位】秋元彩葉（神奈川・川崎小5年）=77
【3位】岡島彩乃（千葉・稲丘小5年）=81 【4位】赤堀まみ（千葉・大和田小6年）=82
【5位】中谷愛純（千葉・多古第二小5年）=83
【6位】佐藤雪乃（神奈川・西野川小6年）=84 【7位】堀川雪花（静岡・豊田東小5年）=85

▽9-10歳男子

- 【1位】本 大志（神奈川・末吉小4年）=75 【2位】柿澤琢真（埼玉・高砂小4年）=82
【3位】清水拳斗（埼玉・中尾小4年）=84

▽同女子

- 【1位】小林イリス（東京・聖学院小3年）=79
【2位】鈴木 能々子（東京・鹿浜五色桜小3年）=81
【3位】鈴木姫琉（東京・給田小3年）=82 【4位】栗田怜奈（千葉・小栗原小4年）=85
【5位】手塚彩馨（山梨・白根源小4年）=86

▽7-8歳男子

- 【1位】吉田 悠（東京・瀬田小1年）=80 【2位】浪川貴人（千葉・金沢小2年）=90

▽同女子

- 【1位】國吉愛良（千葉・松ヶ丘小2年）=73 【2位】佐藤小洛（東京・若葉小2年）=86
【3位】芳賀恵夏（神奈川・上鶴間小2年）=91 【4位】清藤羽琉（千葉・牧園小1年）=95
（注）同スコアの順位は18番からのカウントバックによる

<PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会 関東1予選 ハイライト1>

◇15-17歳の部男子◇千葉・ムーンレイクGC茂原C（15-17歳の部男子／6719ヤード、パー72）

金子憲洋（東京・立教池袋高2年）が後半踏ん張って1オーバー73で回り、カウントバックで大澤優（新潟・開志国際高1年）に勝って1位で東日本決勝大会（4月23、24日、茨城・美浦GC）に進んだ。「今日は50点ぐらい」と厳しい自己採点は、課題のショートアイアンが「まったくチャンスにつけられなかったから」という。2オーバーで折り返したインでは12番パー3を4番アイアンで2メートルにつけ、18番パー5では残り240ヤードを3番ウッドで2オンと、2つのバーディーを奪うなど1アンダーで回った。トッププロの金子柱憲の長男。父はこの日、カートを運転して裏方を務めた。「父にはまだ勝てないです（笑い）。決勝大会ではすべての精度を上げたい。米国に魅力があって予選に申し込んだので」と、世界ジュニアを目指す。

<PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会 関東1予選 ハイライト2>

◇15-17歳の部女子◇千葉・ムーンレイクGC茂原C（15-17歳の部女子／6207ヤード、パー72）

関根理央（東京・杉並学院高1年）が1アンダー71の好スコアをマークして、東日本決勝大会（4月23、24日、茨城・美浦GC）にトップ通過した。前半のインを1オーバーで折り返したが、後半は「いいパットが入った」と、5番で6メートル、8番で7メートルを沈める2バーディーでアンダーパーにした。「元々パットがうまいといわれていたし、自分でも自信がある。でも、今日はいつもより入ったと思う」と笑顔を見せた。練習ラウンドでは「アプローチに不安がでて、そのまま入ったので、パープレーで回ればと思っていた」という。「まずは決勝大会で上位に入って」と言った後、誕生日の関係で世界ジュニアには今年しか出場できないことに気づいて「あ、優勝します」と、言い直していた。

< PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会 関東1予選 ハイライト3 >

◇13-14歳の部男子◇千葉・ムーンレイクGC茂原C (13-14歳の部男子/6719ヤード、パー72)

井上和馬 (東京・立教池袋中1年) が5オーバー77で並んだ菅野義稀 (茨城・小見川中1年) にカウントバックで競り勝って、1位で東日本決勝大会 (4月23、24日、茨城・美浦GC) に進出した。「相変わらずティーショットは曲がりましたが、2打目が乗ってくれてパーを取れた」という。5番、15番でともに3メートルのバーディーを奪ったが「バンカーで2度たいて、ダブルボギーも2つ」と、出入りの激しいゴルフだった。178センチ、84キロの大柄な体でドライバー飛距離は「飛ばば270ヤードぐらい」と胸を張る。大会を主催する国際ジュニア育成協会の井上透理事長の次男。兄の達希 (神奈川・聖光学院高1年) も15-17歳の部で東日本決勝大会に進んだ。世界ジュニアに兄弟出場と周囲の注目を浴びるが「いつも100とか平気でたたんで、決勝大会ではうまい人のゴルフを見て勉強します」と控えめだった。



写真： 左/金子憲洋 (15-17歳の部男子)、中央/関根理央 (15-17歳の部女子)、
右/井上和馬 (13-14歳の部男子)、 写真クレジット：© I J G A 2 0 1 6